

令和元年11月20日

「eol企業情報データベース」及び「eol企業ナビ」の紹介

水田記念図書館

○eol企業情報データベース

⇒eolログイン画面の“自動認証ログイン”ボタンをクリックすると検索画面に入ります。

1.有価証券報告書など企業情報を網羅的に収録し提供

- ・金融庁、証券取引所へ提出する制度開示資料及び各企業のWeb掲載ニュースを収録。
- ・上場会社を中心に有価証券報告書を最大1961年から収録。
- ・有価証券報告書を200項目以上に分割してデータベース化している。

2.簡単な操作で企業の比較・分析が可能

- ・複数社の比較のための要約財務データの提供及びXBRL形式でのデータ提供。
- ・表現力豊かなグラフ表示機能を提供し、レポート作成等の業務をサポート。

3.多言語切替機能により5つの言語で画面表示可能

- ・英語、韓国語、中国語（簡体字、繁体字）での画面表示が可能。
- ・財務データ等も予め翻訳されている。

○eol企業ナビ

⇒企業ナビ・ログイン画面の“自動認証ログイン”ボタンをクリックすると検索画面に入ります。

- ・また“個人ID、パスワード”を入力して検索も可能です。
- ・ID、パスワードの取得については、図書館カウンターにご相談ください。

1.企業分析の入門ツール

- ・eol企業情報データベースを使って、企業分析に必要な情報をグラフなどで簡潔表示。
- ・インターフェースも階層が浅いため操作が簡単。

2.就職活動での業界分析、面接対策にも活用可能

- ・テーマ別の企業検索機能や企業ランキング機能を搭載。
- ・志望先の業界・企業のプラス面だけではなくマイナス面の情報も入手可能。